

令和 8 年度

土 地 改 良 事 業 計 画 書

事 業 名	地域計画実現化促進生産基盤整備事業
地 区 名	八 兵 2 期 地 区
所 在 地	観音寺市大野原町
事 業 主 体	豊稔池土地改良区

第1章 目 的

当地区は、観音寺市の中心部に位置し、標高40mくらいで、古くから水稻及び野菜が主要農作物の農業の盛んな地域であるが、圃場条件が悪く狭小であり、営農に多大な労力を費やしている。区画の整形、大区画化を図り、担い手農家、農業法人に集積し、営農労力の節減及び農業生産性の向上、農業経営の安定を図る。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

事 業 名	地 域
地域計画実現化促進生産基盤整備事業	香川県観音寺市大野原町の一部

第2節 地 積

(7年8月現在)

事 業 名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町名							
地域計画実現化促進 生産基盤整備事業	観音寺市大野原町	2.2	-	-	-	-	2.2	
	計	2.2	-	-	-	0.0	2.2	

第3章 現 況

第1節 気 象

観測所名	多度津気象台	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
	S56年～H22年	6月～9月	10月～5月		
平 均 気 温 (℃)	25.4	11.7	年平均 16.2℃		
降 水 量	520 mm	549 mm	1068.4 mm		
無 霜 期 間	4 月 1 日 ～ 11 月 24 日 238 日間			高松気象台より	
最 多 風 向	北	西北西	西北西		

第2節 土地状況

1 地形・地質・土壌

本地区は、観音寺市の中心部に位置する。標高は、40mくらいの地域である。

地質は湖沼堆積物の三豊層群からなり、砂・礫・粘土からなる未固結の軟泥層となっており、主として花崗岩及び和泉層群の岩石からできている。

2 土地利用の状況

事業名	土地利用別 市町名	耕 地						山 林		採草放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 樹 園 他 地 (ha)	用 材 林 (ha)	薪 炭 林 (ha)					
地域計画実現化促進生産基盤整備事業	観音寺市大野原町	2.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2	
合 計		2.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2	

第3節 水利状況

1 用 水 状 況

本地区の用水路はコンクリート水路に整備済である。

2 排 水 状 況

本地区の排水は用排水兼用部分もあり、又、コンクリート水路に整備済である。

第4節 道路概況

1 道 路 概 況

本地区の農道は整備済であり、通作に支障はない。

第5節 地域農業の概況

本地区の営農状況は水稻及び野菜であり、1戸当たりの平均耕作面積は13aと零細な規模であり、第2種兼業農家である。

第6節 地域環境の概況

観音寺市の中心部に位置し、標高40mくらいの地域である。地区の周辺は、農地・ため池に囲まれた緑豊かな自然に恵まれており、その水は波静かな瀬戸内海に注ぎ込むといった、穏やかな農村地帯である。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

- 1 要 旨
- 本事業により区画整理を実施し、農地を大区画することにより、大型機械の導入を容易にし農作業の省力化と農業生産性の向上を図り、用排水路を整備し農地の汎用化を図り、農業総生産の拡大及び農業経営の合理化に寄与する。
- 2 事業別面積

事業名 土地利用区分 事業目的	団体営農地耕作条件改善事業											計 (ha)	備 考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	道路 (ha)	水路 (ha)	その他 (ha)				小計 (ha)		
区画整理	2.2	-	-	-	-	-	-				2.2	2.2	

第2節 営農計画及び土地利用計画

- 1 営農計画の概要
- 区画整理の実施により農地の汎用化を図り、水稻・麦はもとより、地域の特性を生かした高付加価値・高収益作物の作付を推進し、農業経営の改善に寄与する。
- 2 土地利用区分

事業名	土地利用区分	水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他 (ha)	小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	区 分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
地域計画実現化促進生産基盤整備事業	現 況	2.2	-	-	-	-	-	2.2	-	-	-	2.2	
	計 画	2.2	-	-	-	-	-	2.2	-	-	-	2.2	

第3節 道路計画

1 道路

項 目 路 線 名	幅 (有効) × 延 長 (m) (m)	構 造	既設道路との関係	備 考
-	-	-	-	
計	-			

第4節 農用地整備計画

1 区画整理

(1) 区画の形状

長辺 × 短辺 (m)	区 画 面 積 (ha)	全 体 面 積 (ha)	割 合 (%)	田 面 差 (m)	備 考
67 × 30	2.2	2.2	100.0%	0.2	
計		2.0	100.0%		

(2) 表土扱い

面 積	表土扱い要否の理由	扱 い 深	土 量	備 考
h a 2.2	作土の地力に対する農家の意向	cm 15.0	ρ 3300	

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1 用水路

項 目 名 称	かんがい面積(ha)			通水量 (ρ/s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	管水路				
	地区内	地区外	計								
計											

第2節 排水施設

1 排水路

[illegible]

第3節 道路及び索道

1 道 路

項目 路線数	路 線 名	幅(有効)×延長 (m) (k m)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 こう配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
計				—	—	—			—	

第4節 農用地整備施設

1 区 画 整 理

工 区 名	面 積 (ha)	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
			標準区画	土 量 (ρ)	面 積 (ha)	土 量 (ρ)	
—	2.2	—	67×30	—	2.2	3,300	

第6章 付帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手予定 令和 8 年度

完了予定 令和 9 年度

第8章 環境との調和への配慮

該 当 な し

第9章 換地計画の概要

該 当 な し

第 1 0 章 事業費の総額及び内訳

区 分 \ 事業名	地域計画実現化促進生産基盤 整備事業 (千円)	備 考	
本 工 事 費	11,600		
用地費及び補償費	0		
測 量 試 験 費	1,300		
換 地 事 業 費	0		
合 計	12,900	10 a 当たり負担額	586 千円

第 1 1 章 効 用

事業名	区 分 \ 項 目	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	現況年総農業所得額 (千円)	備考
農地耕作条件改善事業	作物生産効果	1,765	1,019	1,521	
	営農経費節減効果				
	維持管理節減効果				
	地籍確定効果				
	耕作放棄防止効果				
	計	1,765	1,019	1,521	

第 1 2 章 関連する事業

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
	該当なし			

第 1 3 章 現況・計画図面

1 現 況 平 面 図 別 紙 添 付

2 計画平面図及び土地利用計画図 別 紙 添 付

3 主 要 構 造 図 別 紙 添 付

計画概要図

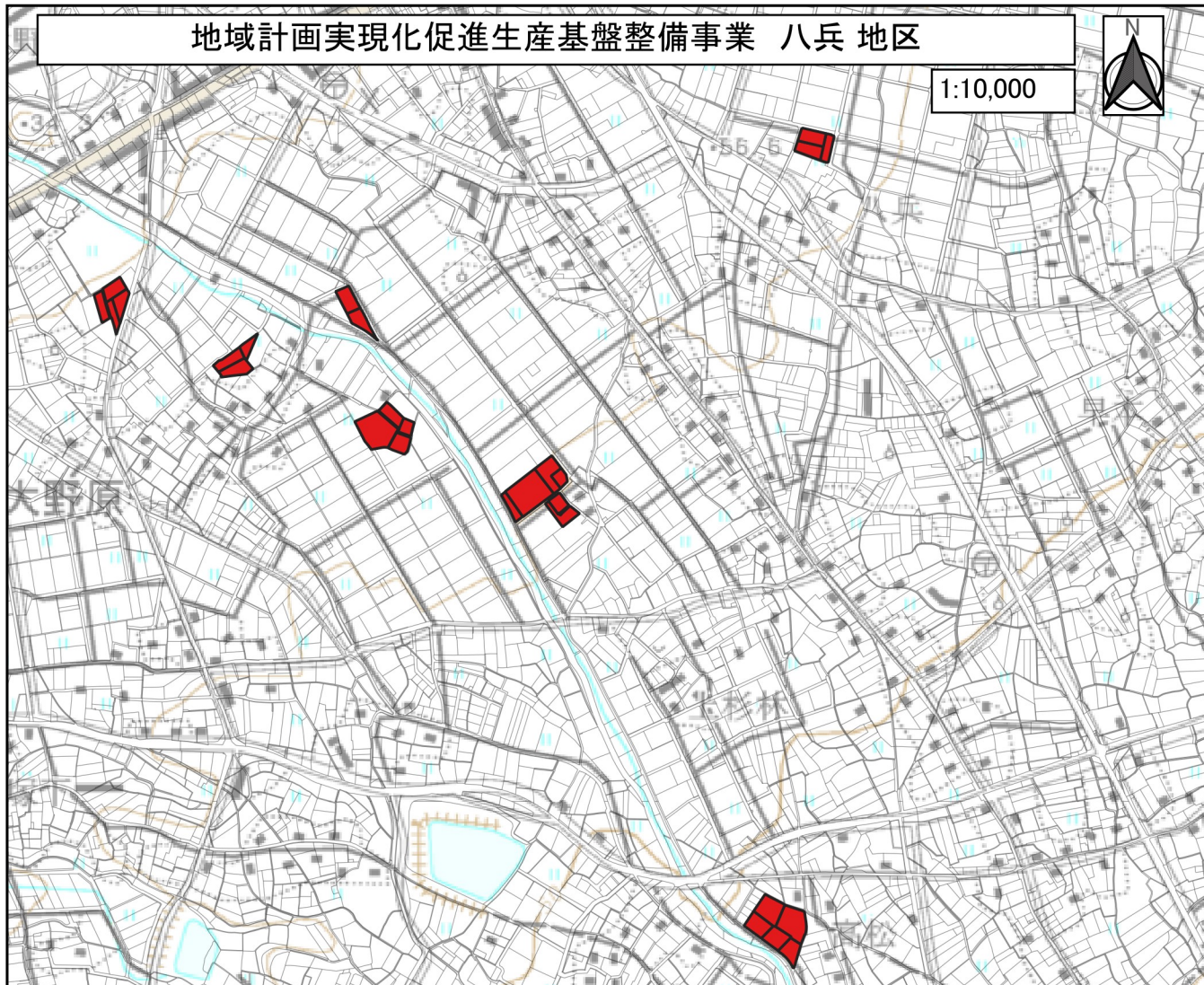
八兵地区



整地面積=2.2ha

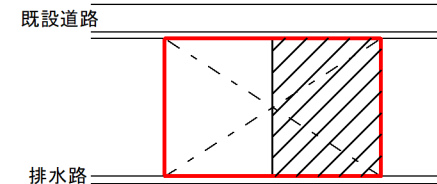
地域計画実現化促進生産基盤整備事業 八兵地区

1:10,000



標準施工図

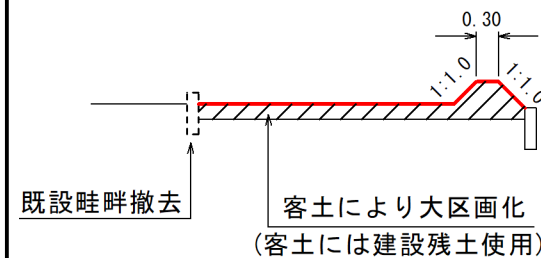
既設畦畔撤去、客土により大区画化



標準断面図

客土工

畦畔工



地域計画実現化促進生産基盤整備事業

八 兵 2 期 地 区

経 済 効 果 測 定 総 括 表

(1) 総費用総便益比及び所得償還率の総括

(第1表)
(単位:千円)

区 分	算定式	数 値	備 考
総費用(現在価値化)	③＝①＋②	19,500 千円	
当該事業による費用	①	10,759 千円	総括 第2表
その他費用(関連事業費＋資産価額＋再整備費)	②	8,741 千円	総括 第2表
年償還額	④	104 千円/年	総括 第4表
年総効果(便益)額	⑤	1,765 千円	総括 第3表
現況年総農業所得額	⑥	1,521 千円	総括 第6表
年増加農業所得額	⑦	1,019 千円	総括 第3表
評価期間(当該事業の工事期間＋40年)		41 年	工事期間 1年
割引率		0.04	
総便益額(現在価値化)	⑧	35,046 千円	
総費用総便益比	⑨＝⑧÷③	1.79	≥1.0
総所得償還率	⑩＝④÷⑥	0.07	≤0.2
増加所得償還率	⑪＝④÷⑦	0.10	≤0.4

(2) 総費用の総括

(第2表)
(単位:千円)

(当該事業)

費用区分 事業区分		事業着工時点の 資産価額 ①	当該事業費 ②	関連事業費 ③	評価期間における 再整備費 ④	評価期間終了時点の 資産価額 ⑤	総費用 (①+②+③+④-⑤)
	八兵2期地区ほ場整備工(当該事業)		11,276	0	0	517	10,759
合計		0	11,276	0	0	517	10,759

その他費用(関連事業+資産価格+再整備費)

費用区分 事業区分		事業着工時点の 資産価額 ①	当該事業費 ②	関連事業費 ③	評価期間における 再整備費 ④	評価期間終了時点の 資産価額 ⑤	総費用 (①+②+③+④-⑤)
関連事業	豊稔池土地改良区管理水路	4,505	0	0	4,733	704	8,534
	東西分水工-1(1)	1	0	0	0	1	0
	東西分水工-1(2)	3	0	0	3	1	5
	香川用水 早明浦ダム	1	0	0	78	18	61
	香川用水 池田ダム	1	0	0	27	19	9
	西部幹線水路-1(1)	3	0	0	1	1	3
	西部幹線水路-1(2)	80	0	0	25	15	90
	西部幹線水路-2	20	0	0	6	4	22
	西部幹線水路-3	16	0	0	4	3	17
合計		4,630	0	0	4,877	766	8,741

(新設整備+更新整備)

費用区分 事業区分		事業着工時点の 資産価額 ①	当該事業費 ②	関連事業費 ③	評価期間における 再整備費 ④	評価期間終了時点の 資産価額 ⑤	総費用 (①+②+③+④-⑤)
合計		4,630	11,276	0	4,877	1,283	19,500

(3) 年総効果額及び年増加所得額及び現況年総農業所得額の総括

(第3表)
(単位:千円)

区 分		年総効果(便益)額	年増加農業所得額	備考
効果項目				
食料の安定供給の確保に関する効果		1,765	1,019	
	作物生産効果	1,765	1,019	
		0	0	
		0	-	
合 計		1,765	1,019	

(4) 農家負担年償還額

(第4表)
(単位:千円)

事業名		事業費 ①	負担率 (%)				農家負担額 ③=①×②	年賦金利率 ④	農家負担年償還額 ⑤=③×④	備考
			国	県	市町村	農家②				
地域計画実現化促進生産基盤整備事業 八兵2期地区		12,900	0.00	60.00	30.00	10.00	1,290	0.0808	104	i= 2.5% n= 15
関連事業										
	計									
合 計		12,900					1,290		104	

(5) 総便益額算出表

(第5表)

[illegible]

(6)現況年総農業所得額の算定

(第6表)

地目	作目名	現況作付面積 ① (ha)	現況単収 ② (kg/10a)	生産量 ③ = ① × ② (t)	生産物単価 ④ (千円/t)	粗収益額 ⑤ = ③ × ④ (千円)	所得率 ⑥ %	現況年総農業所得額 ⑦ = ⑤ × ⑥ (千円)
田	水稻	1.8	499	9.0	222	1,998	27%	539
	小麦	1.0	413	4.1	43	176	0%	0
	たまねぎ	0.2	4,680	9.4	124	1,166	45%	525
	レタス	0.5	2,098	10.5	128	1,344	34%	457
	小計	3.5				4,684		1,521
普通畑								
	小計	0				0		0
合計		3.5				4,684		1,521